THE MAKING OF A GARMENT: PEOPLE, PLACE&TIME

一着の背景にある人の手、土地の記憶、そして日々の暮らし。

EDITORIAL

服づくりは、完成から始まらない。

フランク・リーダーの服を見ていると、デザインの出発点が必ずしも服そのものではないことに気づく。古い資料を調べ、土地に残るものを探し、そこで暮らす人や働く人の話に耳を傾ける。目の前にある形だけを手がかりにするのではなく、その奥にある時間や背景をたどること。そうした積み重ねが、素材の選び方やシルエット、細部の表情へとつながっていく。





THE WORKROOM

つくる場所に流れる時間。

服はデザイン画だけで完結するものではない。生地の表情を確かめ、縫製の具合を見て、手を動かす人と向き合いながら少しずつ形になっていく。アトリエや作業場にある道具、ラックに並ぶ途中の服、素材の端切れ。完成品の外側にある風景にも、ブランドの考え方は表れている。フランクが大切にしているのは、そうした制作の過程を含めて服を捉える視点。



REUSE & CONTINUITY

古いものを、次の時間へ。

古い生地やパーツを使うことは、単に懐かしさを表現するためではない。すでに存在する素材に別の役割を与え、これから先も使われるものへとつなぐこと。素材が持つ来歴を消さずに生かす姿勢には、ものを簡単に使い捨てないという考え方も重なる。



A PERSONAL ARCHIVE

服は、買った瞬間が完成ではない。

袖を通し、日々の生活の中で着ることで、少しづつ自分のものへなっていく。流行に合わせて消費するのではなく、時間を重ねても手元に残したいと思えるか。フランク・リーダーの服づくりには、着る人の暮らしの中で育っていく一着へのまなざしがある。アーカイブは、過去をそのまま保存するためだけのものではない。そこから何を見つけ、今の服にどう生かすか。古い服や道具、写真や資料を見つめ直すことで、新しい発想が生まれる。過去と現在を行き来しながら、次の一着を考える。

MESSAGE TO ARCH

“ I am very much looking forward to my visit to Arch Yonemuraya, a longtime supporter of my brand and a beacon of style in Sapporo. It will be a great pleasure meeting everyone of my customers and supporters in person, share the inspiration behind my latest collection and spend a wonderful weekend celebrating style together with the incredible community there.”

「私のブランドを長年にわたりご支援いただいている、札幌のスタイルのビーコン（指針）とも言える『Arch Yonemuraya』への訪問を、心から楽しみにしています。お客様やサポーターの皆様一人ひとりと直接お会いし、最新コレクションのインスピレーションについてお話しし、現地の素晴らしいコミュニティの皆様と共にスタイルを称えながら、素敵な週末を過ごせることを心待ちにしています。」

FRANK LEDER